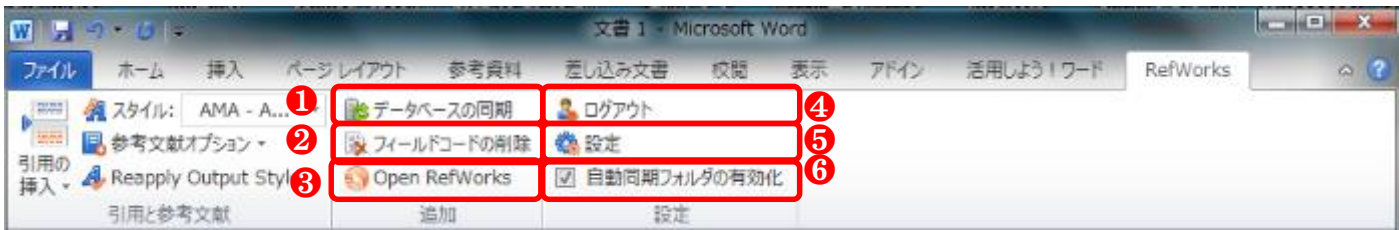


1. WNC4画面のご紹介

メニュー画面



- ① RefWorksアカウントのフォルダおよびレコード情報を同期します。⑥の自動同期フォルダの有効化にチェックが入っていると同期作業は自動的に行われますので、この機能を利用する必要はありません。
- ② フィールドコードを削除します。フィールドコードを削除すると文中引用や参考文献リストは通常のテキストデータとして扱われ、Write-N-Citeで操作・編集することはできなくなります。
- ③ RefWorksを開きます。
- ④ ログアウトします。ログアウトすると再びログイン作業を行うまでWrite-N-Citeの機能は利用できません。
- ⑤ 設定画面を開きます。アカウントの切り替え、Write-N-Cite旧バージョン用ファイルへ変換、言語変更などが可能です。
- ⑥ チェックを入れるとRefWorksのアカウントの内容が自動的にWrite-N-Citeに反映されるよう同期する設定が有効になります。

「引用の挿入／編集」画面



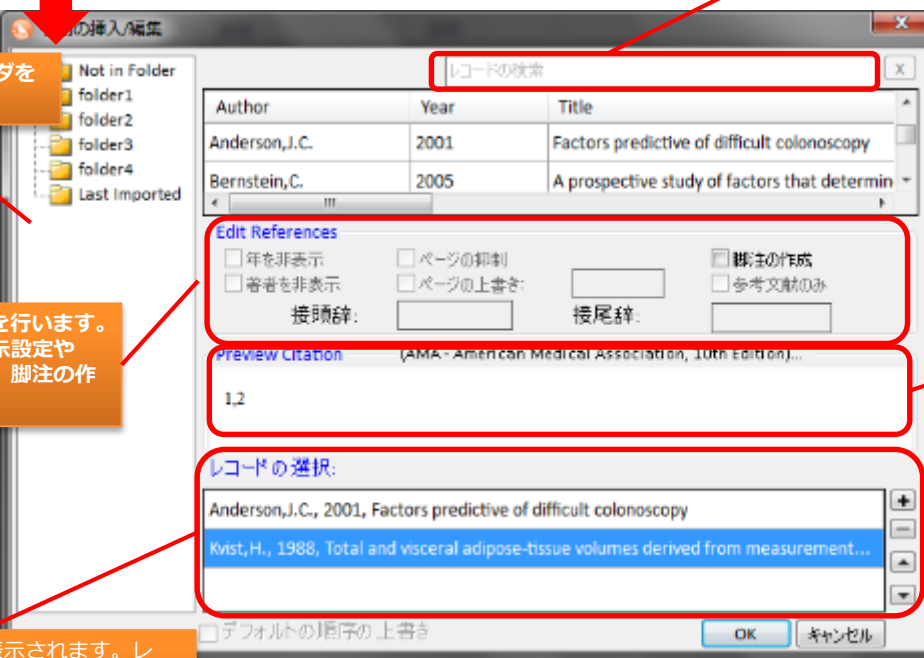
ボックスにキーワードを入力すると、条件に合致するレコードが下のレコードリストに表示されます。

RefWorks内のフォルダを表示しています。

文中の引用記号の編集を行います。著者名、ページの非表示設定やページデータの上書き、脚注の作成が可能です。

引用や注記のプレビューが表示されます。

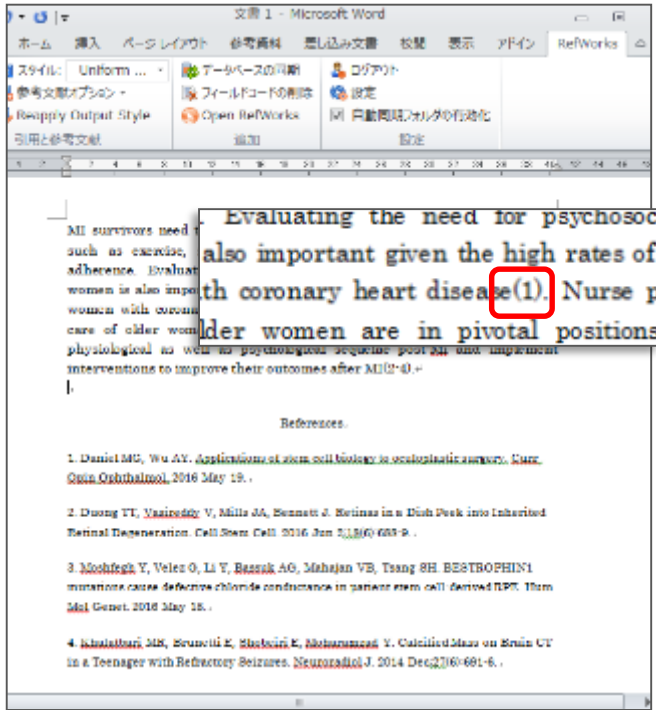
引用するレコードが表示されます。レコードの追加、削除、順番の変更を右側のボタンで操作してください。



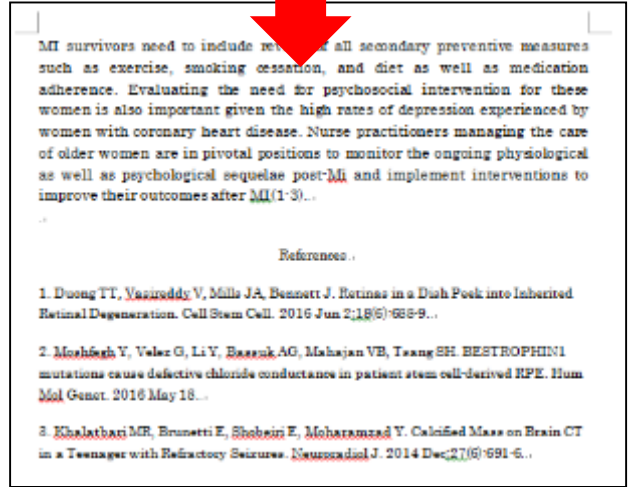
2. WNC4で生成した文献を修正する

文献を削除する

①削除したい文献の、文中の引用記号をクリックし、該当の引用記号をDeleteキーなどで削除します。

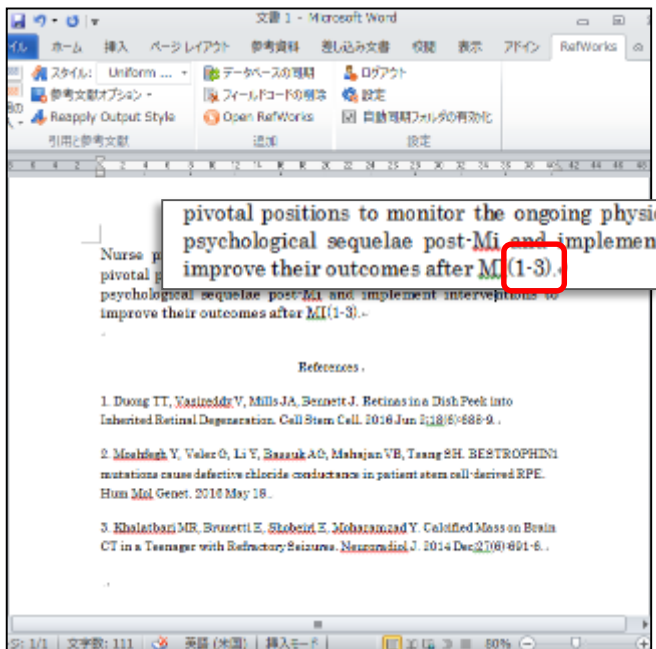


②「Reapply Output Style」をクリックします。

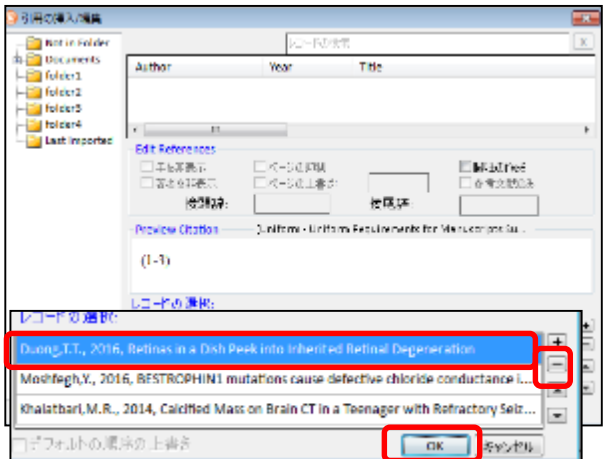


文献を削除する（連続引用から削除する）

①削除したい文献が含まれる引用記号をダブルクリックします。



②「引用の挿入／編集」画面の「レコードの選択」から、不要な文献を選択して-ボタンをクリックします。
③OKボタンをクリックします。



Reapply Output Styleをクリックします。

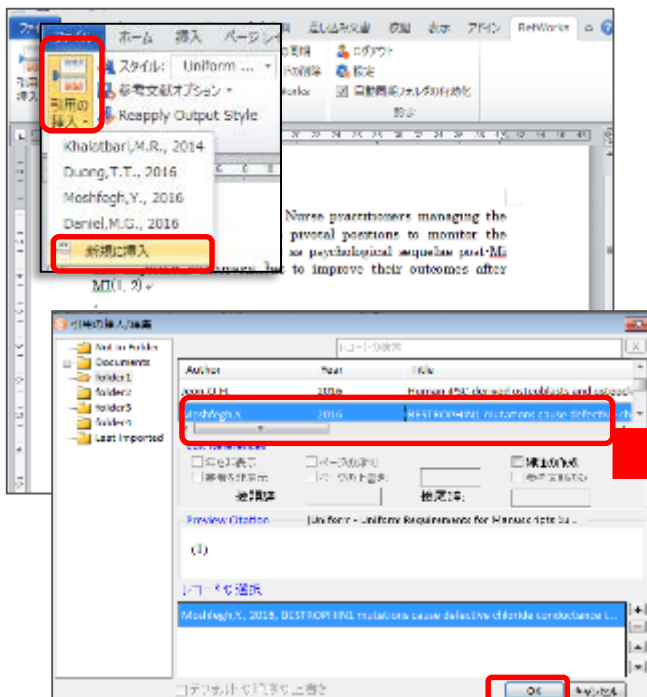


2. WNC4で生成した文献を修正する

文献を追加する

①文中の、文献を追加したい箇所をクリックし、「引用の挿入」をクリックします。

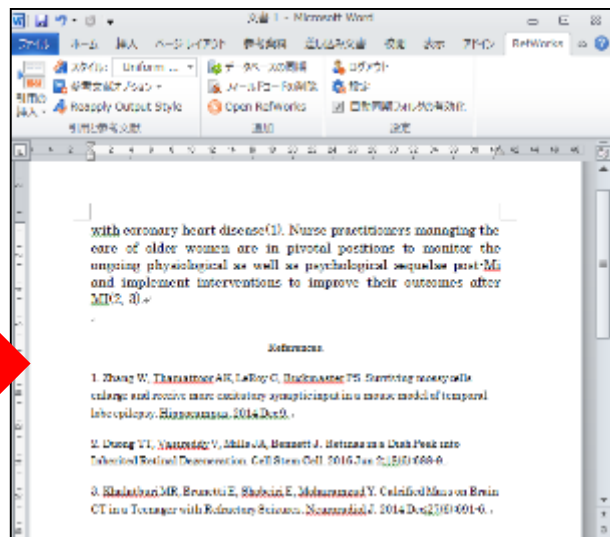
②「新規の挿入」をクリックします。



③「引用の挿入／編集」画面で追加したい文献を選択します。

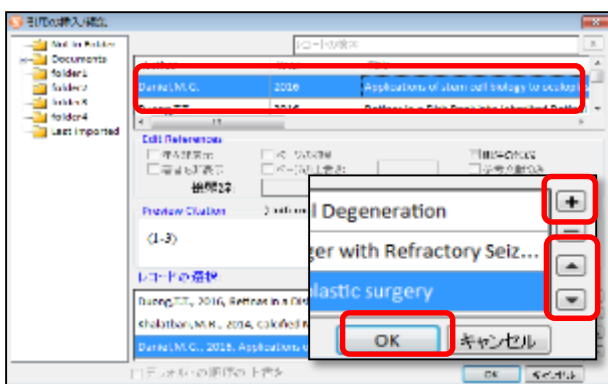
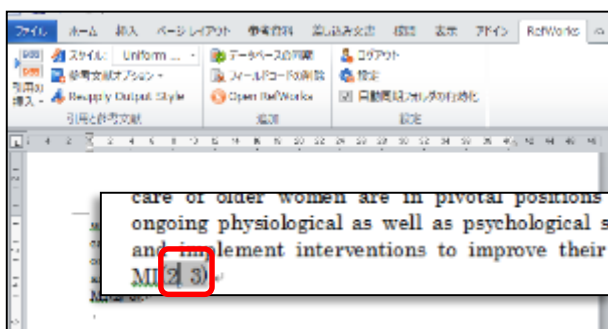
※連続で文献を追加する場合には、+ボタンをクリックしてから、さらに追加する文献を選択します。

④OKをクリックします。



文献を追加する（連続引用部分に追加する）

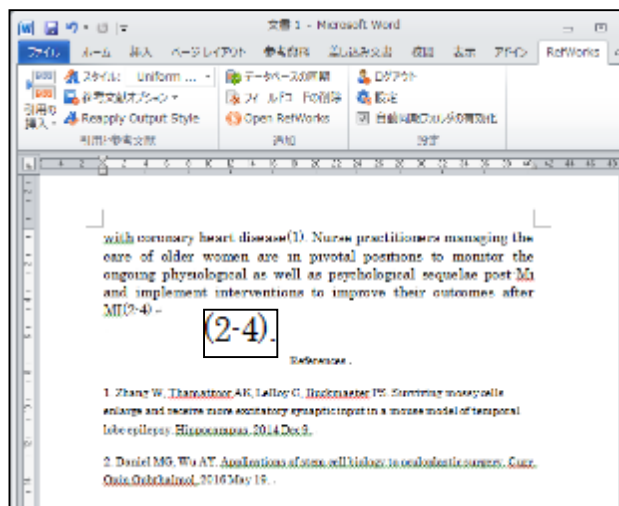
①削除したい文献が含まれる連続引用記号をダブルクリックします。



②「引用の挿入／編集」画面の+ボタンをクリックします。フォルダから追加する文献をし、クリックします。

③連続引用文献のどこに文献を挿入するのか、「レコードの選択」で追加する文献を選択し、▲▼をクリックして移動させます

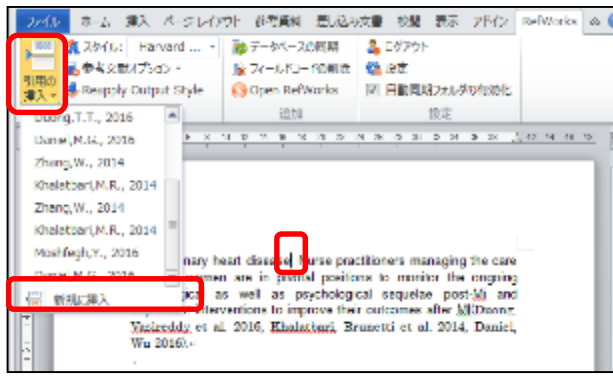
④OKボタンをクリックします。



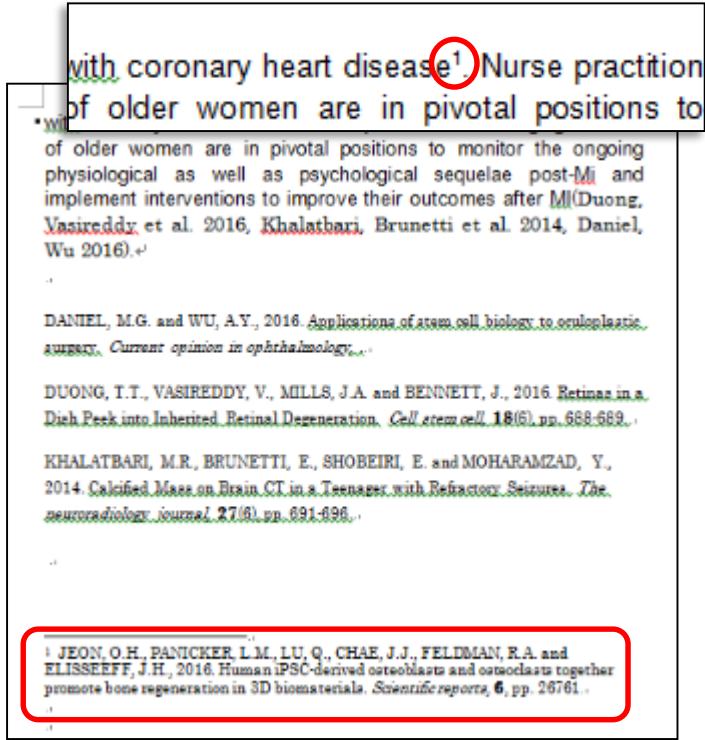
3. 脚注に出カフォーマットに沿った文献情報を挿入する

参考文献リストだけでなく、脚注で出力フォーマットを使用することも可能です。以下ではその方法についてご紹介いたします。

- ① Word 文書中の、脚注を挿入したい箇所をクリックします。
- ② 引用の挿入をクリックして「新規の挿入」を選択します。



- ③ 「引用の挿入／編集」画面で脚注に挿入したい文献をフォルダから選び、クリックします。
- ④ 「脚注の作成」にチェックを入れ、OKボタンをクリックします。



4. 和文献引用時のよくあるQ&A

Q. 和文献の書誌を、アルファベット順に並べることができない。
A. 和文献をアルファベット順に表示するためには、手作業が必要です。

RefWorksには自動的に和文献の書誌をアルファベット順に並べ替える機能がありません（データベースにフリガナのデータが登録されていないためです）。そのため、アルファベット順に並べ替えるためには、コピー＆ペーストで順番を手作業で替えていただく必要があります。

注意！

参考文献リストを並び替えたあとに、もう一度リストを生成すると、並び替えた文献が元に戻ってしまいます。

並び替え後に修正を行う場合には、フィールドコードを削除してから追加を行ってください。

Yoshida	文献① 吉田 賢明, 阿部 弘太郎, 田中 真理子, 他(2016): 圧負荷誘発性右室機能障害におけるNF- κ Bを介した炎症の重要性, 呼吸と循環, 64(5), 838.①
Hasegawa	長谷川 智香, 土屋 惠李佳, 阿部 未来, 他(2016): 【骨密度学〜境界を越えて!〜】骨組織を構成する細胞群と血管系の連関, Clin. Calcium, 26(5), 677-682.①
Abe	阿部 弘太郎, 岡 正彦, 篠田 雅子, 他(2016): 重症 PAH の閉塞性血管病変増悪における血行動態ストレスの役割, 呼吸と循環, 64(6), 811.①
Abe	阿部 弘太郎, 岡 正彦, 篠田 雅子, 他(2016): 重症 PAH の閉塞性血管病変増悪における血行動態ストレスの役割, 呼吸と循環, 64(5), 811.①
Hasegawa	長谷川 智香, 土屋 惠李佳, 阿部 未来, 他(2016): 【骨密度学〜境界を越えて!〜】骨組織を構成する細胞群と血管系の連関, Clin. Calcium, 26(5), 677-682.①
Yoshida	吉田 賢明, 阿部 弘太郎, 田中 真理子, 他(2016): 圧負荷誘発性右室機能障害におけるNF- κ Bを介した炎症の重要性, 呼吸と循環, 64(5), 838.①

4. 和文献引用時のよくあるQ&A

Q. 参考文献リストを作成したところ、和文献の表示がおかしい

文献
谷地 孝, 西川 右, 十倉 知, 岩間 正, 赤石 隆, 梅原, 梅原, 村田 暁, 高橋 賢 & 森田 隆 (2015). Pseudo-Meigs症候群を呈した上行結腸癌の1例. 癌と化学療法, 42(10), 1328-1330.

著者の「名」が一文字しか表示されない。

海外文献を引用する際に使う半角のカンマがある。

最終著者の前に「&」が入力されている。

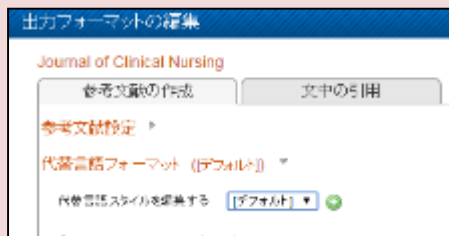
A. 日本語に対応していない出力フォーマットを選択している可能性があります。 「出力フォーマットの編集」画面で、日本語に対応しているかご確認ください。

多くの出力フォーマットは、言語に応じて出力形式が設定されています。

例：著者名を省略する記号
英語文献の場合：et al,
和文献の場合：他

日本語名のフォーマットのほとんどが
和文献の出力に対応しています。

「代替言語フォーマット」は、各レコードの出力言語設定に応じて適用されます。通常、レコードの出力言語は「不明」となっています。この場合には代替言語フォーマットの「デフォルト」の設定が適用されます。

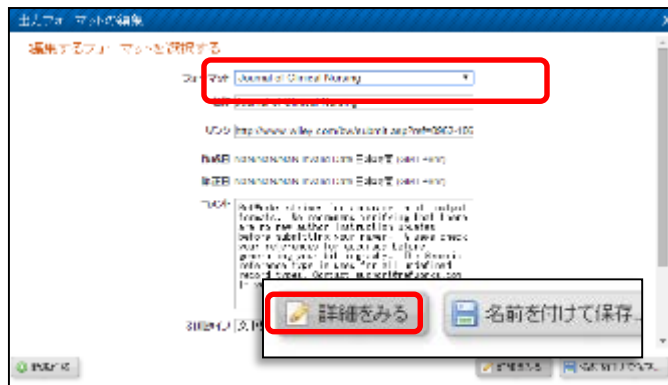


【確認方法】

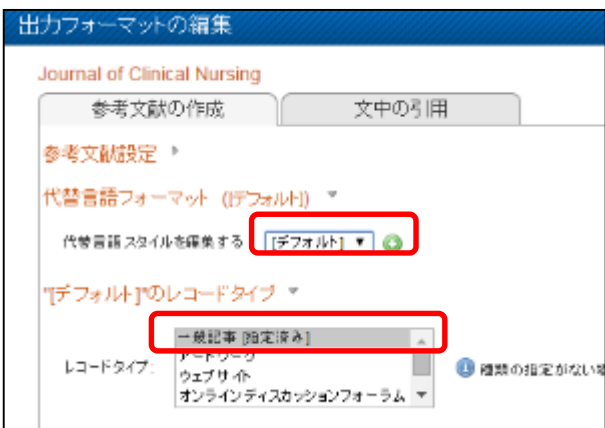
①[参考文献]にカーソルをあわせて[出力フォーマットの編集]をクリックします。



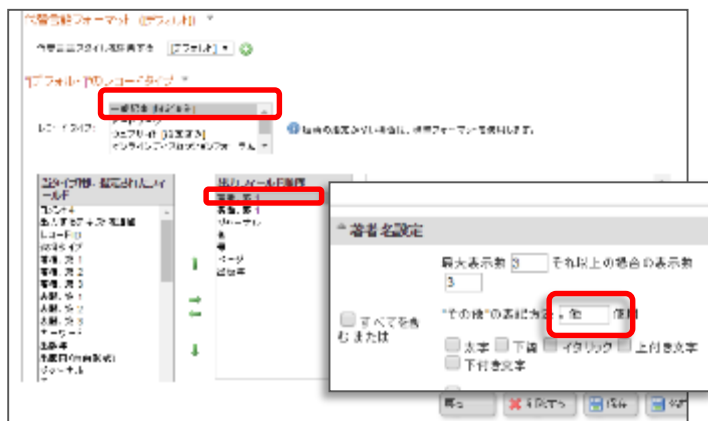
②確認したいフォーマットを選択し、[詳細を見る]をクリックします。



③[代替言語フォーマット]をクリックし、[代替言語スタイルを編集する]のプルダウンの「デフォルト」を選択します。



④「レコードタイプ：一般記事、出力フィールド順序：著者」などを選択して和文献の投稿規定に合致した設定がなされているかを確認します。



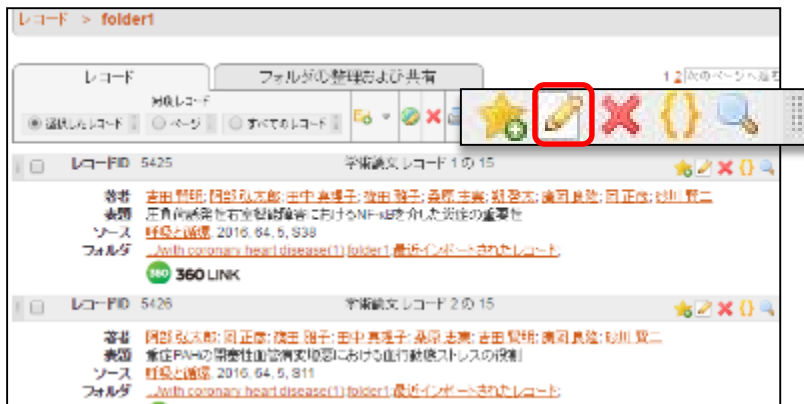
4. 和文献引用時のよくあるQ&A

Q. 日本語に対応しているフォーマットを使っているのに和文献の表示がおかしい。

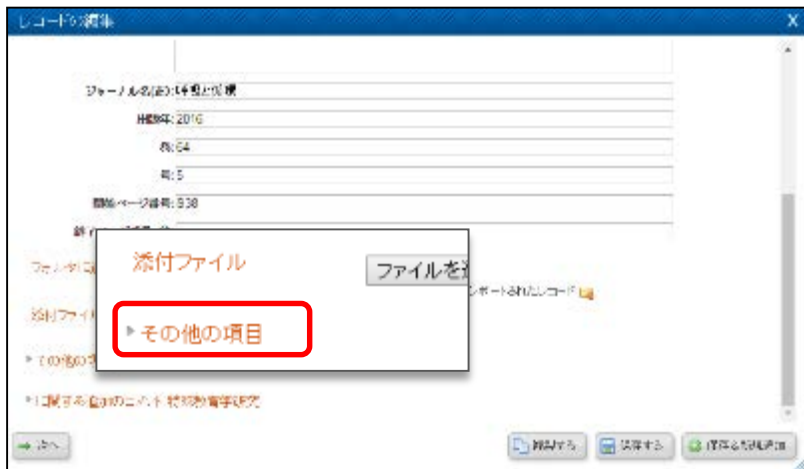
A. 編集画面の[出力言語]の設定が正しくない可能性があります。レコードの編集画面で言語設定をご確認ください。

【変更方法】

①問題が生じたレコードの「レコードの編集」画面を開きます。



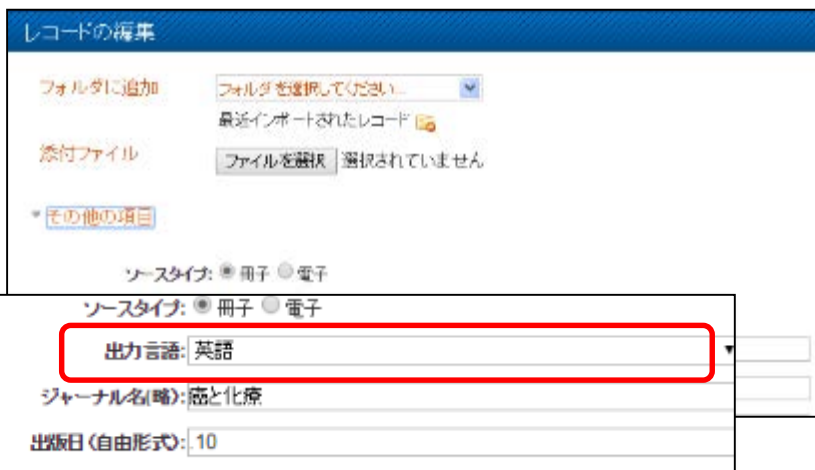
②「その他の項目」をクリックします。



③「出力言語」の設定を変更します(※)。

a) [出力言語]が「不明」になっている場合「日本語」に変更します。

b) [出力言語]が「英語」になっている場合「不明」に変更してください。




グローバル編集の機能を使えば、選択した複数のレコードの[出力言語]をまとめて変更できます。

上記方法でも出力に問題が生じる場合には、「レコードの編集」画面をひらいて、入力内容にそもそも誤りがないかをご確認ください。

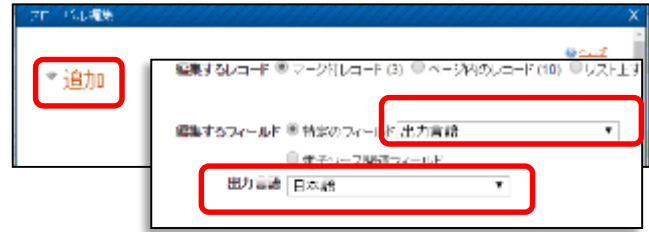
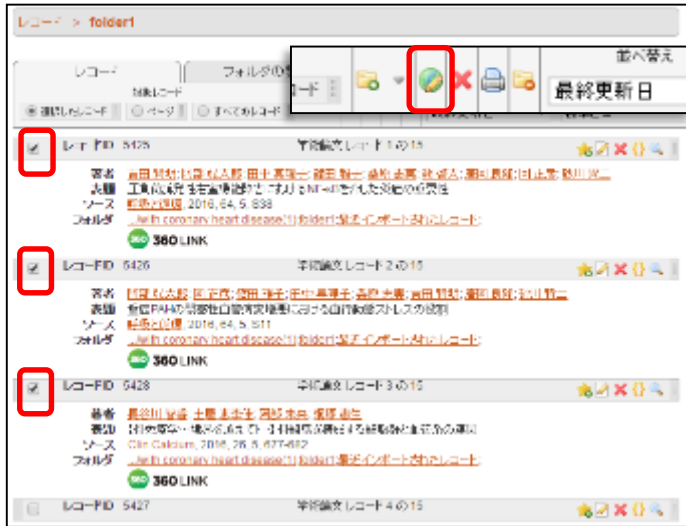
5. 「グローバル編集」で出力言語を一括変更する

グローバル編集では、複数のレコードの設定内容をまとめて編集することが可能です。ここでは前節の内容を踏まえて、各レコードの「出力言語」をまとめて変更する方法をご紹介します。

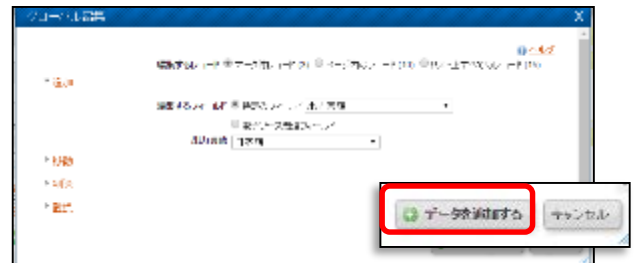
【変更方法】

- ①設定を変更したいレコードのボックスにチェックを入れます。
- ②「グローバル編集」のアイコンをクリックします。

- ③グローバル編集の画面で「追加」をクリックし、「編集するフィールド」の「特定のフィールド」で「出力言語」を選択します。
- ④次に、「出力言語」のプルダウンでレコードの出力言語を選択します。



- ⑤設定が完了したら「データを追加する」をクリックして完了です。



6. カスタマイズ画面の便利な機能

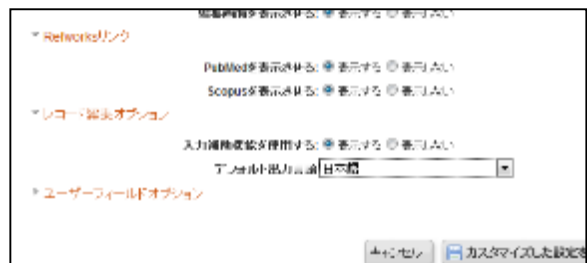
カスタマイズ画面では、RefWorksの各種設定を変更することができます。



例1：1ページあたりのレコード表示数を変える。



例2：インポートするレコードの「出力言語」をあらかじめ固定する。



6. RefWorks上のデータを書き出し、excelで閲覧する

①excelに書き出したいレコードにチェックをいれるか、出したいフォルダを選択します。

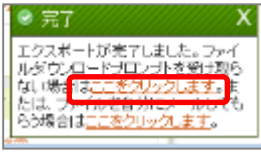
②「レコード」の「エクスポート」をクリックします。



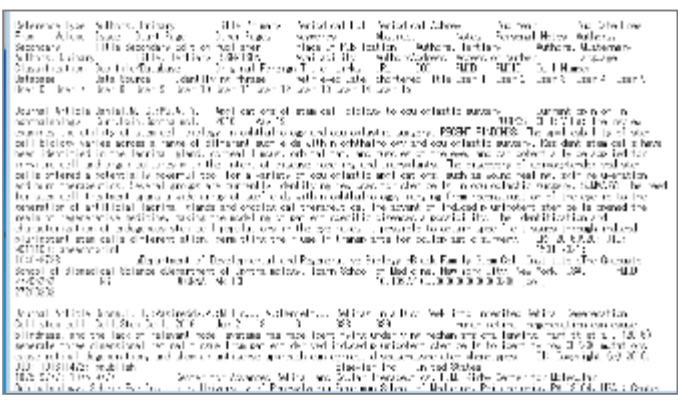
③出力するレコードを確認して「Select an Export Format」で「Tab Delimited」を選択し、「レコードのエクスポート」をクリックします。



④完了のウィンドウが表示されたら「ここをクリックします」をクリックします。

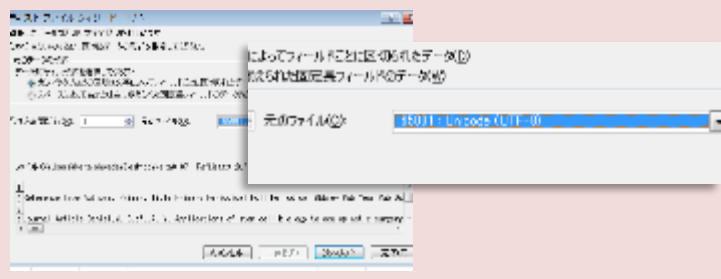


⑤ブラウザに右のような書誌が表示されたら、右クリックで名前をつけて保存します（テキスト形式で保存します）。



⑥⑤で保存したファイルをexcelで開きます（※）

※文字化けを防ぐため、Excelの「テキストファイルウィザード 1/3」の「元のファイル」では「Unicode UTF-8」を選択してください。



「テキストファイルウィザード2/3」, 「3/3」はデフォルトの設定のまま、「次へ」をクリックしてください。

お問い合わせ・ご要望・出力フォーマットの作成依頼 は下記までご連絡ください。



株式会社サンメディア e-Portカンパニー
e-mail : e-port@sunmedia.co.jp